

授業科目	臨床神経学Ⅱ				
担当者	掛川 泰朗 (実務経験者)				
実務経験者の概要	作業療法士として病院に勤務していた				
学科名	作業療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

臨床神経学Ⅰの講義内容を踏まえた上で、神経内科疾患の臨床症状について講義やグループワークを進めていく。

■ 到達目標

1. 作業療法の対象となる各神経内科疾患のメカニズムを理解できる。
2. 作業療法の対象となる各神経内科疾患の臨床症状を理解できる。

■ 授業計画

- 第1回 オリエンテーション・臨床神経学Ⅰの復習
- 第2回 脳血管障害の概要
- 第3回 脳血管障害の具体的な臨床症状
- 第4回 頭部外傷の概要と具体的な臨床症状
- 第5回 脳腫瘍の概要と具体的な臨床症状
- 第6回 パーキンソン病の概要と具体的な臨床症状
- 第7回 脊髄小脳変性症の概要と具体的な臨床症状
- 第8回 多発性硬化症・ギランバレーの概要と具体的な臨床症状
- 第9回 筋萎縮性側索硬化症の概要と具体的な臨床症状
- 第10回 ニューロパチーの概要と具体的な臨床症状
- 第11回 重症筋無力症・周期性四肢麻痺・多発性筋炎の概要と具体的な臨床症状
- 第12回 筋ジストロフィーの概要と具体的な臨床症状
- 第13回 てんかんの概要と具体的な臨床症状
- 第14回 認知症の概要と具体的な臨床症状
- 第15回 その他の神経内科疾患（二分脊椎・脳炎・髄膜炎）の概要と具体的な臨床症状

■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）60%】小テスト30% レポート・発表点10% 小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

臨床神経学Ⅰを基本にやっていきます。授業前には必ず臨床神経学Ⅰの復習をしておいてください。その日の講義内容は必ずその日のうちに復習してください。その日の講義で用いた図表を見て、その日の講義内容が想起できるようにしてください。少なくとも30分以上は復習してください。

■ 教科書

書 名：病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版
 著者名：医療情報科学研究所／編集
 出版社：メディックメディア

■ 参考図書

書名：ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版
著者名：田崎義昭, 斎藤佳雄他
出版社：南山堂

■ 留意事項

講義の中で、実際の患者データを提示します。必ず守秘してください。無断欠席・遅刻はしないようにしてください。

■ 講義受講にあたって

本講義は、臨床神経学 I を基盤に成り立つ科目です。必ず、臨床神経学 I の内容を理解しておいてください。また、身体障害治療学や実習につながる重要な授業です。小テストやレポートでこまめに評価していきます。